

様式第13号(第15条関係)

② ○○年○○月○○日

③届出者
住 所 ○○町○○ ○○番地
(電話000-0000)
氏 名 ○ ○ ○ ○

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A 4とすること。
- 2 法人にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事業所の所在地を記入すること。
- 3 ※印の欄は、記入しないこと。
- 4 貯蔵又は取扱場所の見取り図を添付すること。

【少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱い届出書記入要領】

項 目 記 入 要 領

- ① 届出種別 届出に係る区分以外を一本線で抹消します。
- ② 年月日 届出書の提出年月日を記入します。
- ③ 届出者
少量危険物・指定可燃物の貯蔵又は取扱いをする者の住所、電話番号、氏名を記入します。
(法人の場合は法人の住所、名称及び代表者の職氏名、電話番号を記入します。)
- ④ 所在地 貯蔵又は取扱い場所の所在地を記入します。
- ⑤ 名称 貯蔵又は取扱い場所の名称を記入します。
- ⑥ 類 少量危険物の場合は、消防法別表第一に定める類を記入します。
例：「第4類」等
指定可燃物の場合は、久米島町火災予防条例別表第8に定める品名を記入します。
例：「合成樹脂類」等
- ⑦ 品名 少量危険物の場合は、消防法別表第一に定める品名を記入します。
例：「第2石油類」等
指定可燃物の場合は、久米島町火災予防条例別表第8に定める品名の具体的な品名を記入します。
例：「ゴムタイヤ」等
- ⑧ 最大貯蔵数量 貯蔵する最大数量を記入する。
- ⑨ 一日最大取扱数量 一日の最大取扱数量を記入します。
- ⑩ 貯蔵又は取扱方法の概要
貯蔵方法及び取扱い方法の概要を簡記します。
例：「屋内タンクからボイラーへ燃料を供給する。」等
- ⑪ 貯蔵又は取扱場所の位置、構造及び設備の概要
貯蔵取扱い場所の概要を喚起するか、別添資料参照と記載し、詳細図面等を添付します。
例：「1階東側ボイラー室内、主要構造部は耐火構造、床面は浸透防止構造」等
- ⑫ 消防用設備等又は特殊消防用設備等の概要
設置が必要となる消防用設備等の種類及び数又はそれに代えて設置する特殊消防用設備等を記入します。
例：「粉末消火器10型1本」等
- ⑬ 貯蔵又は取扱いの開始予定期日又は期間
貯蔵又は取扱いの開始予定期日又は期間を記入します。
- ⑭ その他必要な事項
その他必要な事項があれば記入します。
例：「設計者、施工者等の所在、名称、電話番号」等

※ 届出に必要なもの

1 当該届出書2部

2 貯蔵又は取扱いの場所の見取図を添付